

報道関係者 各位

新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用症例について

9月28日、大阪府大阪市より、新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用症例について、別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

平成21年9月28日
大阪市保健所
感染症対策担当課長 吉田英樹
電話06-6647-0950

新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用症例について

大阪市において、平成21年9月25日のPCR検査により、新型インフルエンザの感染が確認された患者について、人工呼吸器を使用した症例が確認されたのでお知らせします。

【患者概要】

年齢： 49歳
性別： 男性

【経緯】

- 9月17日 発熱39.0℃、関節痛を呈し、近くの医療機関受診するもインフルエンザ簡易迅速検査陰性。
- 9月18日 発熱39.0℃が続くため、近くの医療機関を再受診するもインフルエンザ簡易迅速検査陰性。
- 9月23日 発熱39.1℃、呼吸困難のため、別の医療機関を受診するも、インフルエンザ簡易迅速検査陰性。肺炎の疑いのため入院し、酸素吸入実施。
- 9月24日 発熱38.9℃、呼吸困難継続。
- 9月25日 医師がインフルエンザを強く疑ったためPCR検査実施し、新型インフルエンザ確定。
集中治療室入室。その後、呼吸状態悪化のため人工呼吸器使用。
- 9月26日 解熱。
- 9月27日 呼吸状態改善傾向を認める。
- 9月28日 治療継続中。

※ 本件は、平成21年8月25日付け、厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務連絡「新型インフルエンザ（A/H1N1）に係る今後のサーベイランス体制について」に基づき、新型インフルエンザ患者が集中治療室に入室し、人工呼吸器を使用していることから、厚生労働省と連携して公表するものです。